

2024年11月号

令和6年11月13日

漁況情報・浜の話題



神奈川県水産技術センター
企画研究部 046-882-2489
相模湾試験場 0465-23-8531
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/mx7/wadai/>

浜の話題

【10月3日】小田原：カジメ成熟確認

10月3日、小田原藻場再生活動組織は今年4月に小田原地先の海底に設置した養殖ロープで育成中のカジメ(浜の話題 5月号【4月11日】)の成熟状況を調査しました。ほとんどのカジメで成熟の証である「子のう斑」が確認されました。また、付近に自生するカジメ(浜の話題 No.2023-11;1月18,25日)でも「子のう斑」が確認されました。成熟まで育成したカジメの一部はスポアバックに利用します。

浜の話題 5月号

<https://www.pref.kanagawa.jp/documents/109725/wadai2024-05.pdf>

浜の話題 No.2023-11

<https://www.pref.kanagawa.jp/documents/109725/wadai2023-11.pdf>



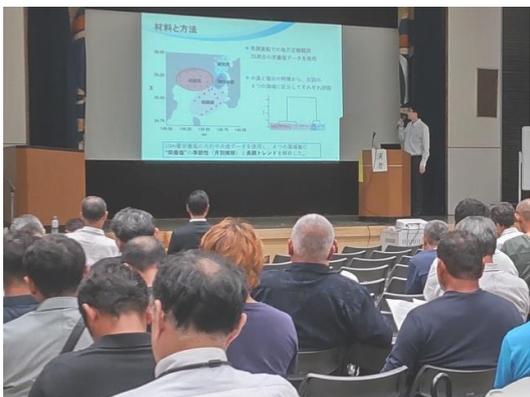
子のう斑が形成された養殖ロープ育成カジメ



子のう斑が形成された自生カジメ

【10月8日】漁業士研修会

10月8日、令和6年度神奈川県漁業士研修会が、かながわ県民センター(横浜市神奈川区)で開催されました。漁業者や水産関係者89名の出席がありました。水産技術センター職員から最近の研究について5題の講演、(株)雨風太陽から「漁業者の所得向上に向けたセミナー」が行われました。



最近の研究についての講演



漁業者の所得向上に向けたセミナー

【10月11日】浦賀・久比里：カワハギ放流

10月11日、(一財)東京湾南部水産振興事業団の主催でカワハギの放流が行われました。横須賀市東部漁協浦賀・久比里支所の漁業者が種苗11,000尾を、それぞれの地先や浦賀港の岸壁から海へ放しました。



船に積み込みました



岸壁からも海へ！

【10月17日】城ヶ島：サザエ放流

10月17日、三和漁協城ヶ島地区の漁業者がサザエ種苗の放流を行いました。(公財)神奈川県栽培漁業協会が生産した殻長15mmサイズの種苗3万個を、豊漁につながることを願いながら地先の漁場へ撒きました。



サザエ種苗を海へ放しました



【10月17日】腰越：サザエ放流、小学校校外学習

10月17日、腰越漁協は、(公財)相模湾水産振興事業団の支援により、12,000個のサザエ種苗を放流しました。併せて、(公財)神奈川県栽培漁業協会の協力により、地元小学校の校外学習と種苗放流体験を実施しました。



栽培漁業協会による説明



船上からの放流体験

【10月17、28日】小田原：カジメスポアバッグ投入

10月17日及び28日、小田原藻場再生活動組織は養殖ロープで育成したカジメなどを収める

スポアバッグの作製と投入作業を行いました。かつてカジメが生えていたポイントに投入することで、藻場の再生を図ります。



スポアバッグ作製の様子



スポアバッグ投入の様子

【10月18日】岩：カジメスポアバッグ投入

10月18日、岩漁協海士会はカジメスポアバッグの作製と投入作業を行いました。水深4～5mのカジメが生えていたポイントに集中して投入しました。遊走子の放出と新芽の生育を期待しています。



スポアバッグ作製の様子



スポアバッグ投入の様子

【10月23日】平塚市漁協：ワカメ種苗生産の視察

10月23日、海水で分解する天然由来の成分やセルロースを材質とした糸やロープの商品開発を行っているレンゴー(株)が、今年から新たに取り組んでいる平塚市漁協のワカメ種苗生産の様子を視察しました。当日は、ワカメの種苗生産から収穫までの1年間の工程を普及員が説明しました。また、実際に種苗育成水槽で種糸を検鏡し、配偶体や芽胞体を確認しました。レンゴー(株)から、同社が開発した商品を磯焼けや海の環境改善に役立てられないかとの相談がありました。



ワカメ種苗生産視察の様子

【10月26日】長井：カワハギ、テレビ放映

10月26日、長井町漁協所属の白鷹丸(仲地さん)の一本釣りで漁獲するカワハギがテレビ朝日「食彩の王国」で紹介されました。

番組ページ <https://www.tv-asahi.co.jp/syokusai/backnumber/0996/>

【10月27日】小田原：あじ地魚まつり

10月27日、「小田原あじ・地魚まつり」が小田原市公設水産地方卸売市場で開催されました。早朝に水揚げされた新鮮な地魚を購入できるイベントや模擬セリへの参加体験など、様々なイベントがあり、大変盛況でした。中でも、寿司・刺身づくり体験や、かます棒づくり体験など、「食」を通じたワークショップが特に人気だったようです。



飲食コーナー



模擬セリの様子

【10月29日】長井：サザエ、アワビ放流

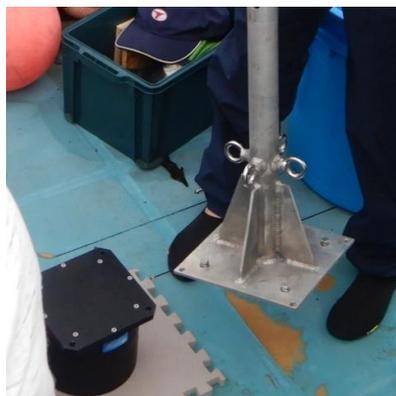
10月29日、長井町漁協は(一財)横須賀西部水産振興事業団の支援を受けて、サザエの種苗を17,000個、アワビの種苗を2,000個(漁協1,000個、事業団1,000個)放流しました。アワビは、魚に捕食されないよう、潜水により放流しました。

【10月30日】鎌倉：藻場調査

10月30日、湘南漁協鎌倉支所の漁業研究会は、東京海上アセットマネジメント(株)のカーボンクレジット研究事業による藻場再生の取組みとしてデジタル技術を活用したモニタリングを担当する富士通(株)とともに、鎌倉地先で海藻の生育状況を調査しました。当日は、防水カメラで藻場を概観するとともに、(株)東陽テクニカの協力により計量魚探で海藻を探知できるか試みましました。今後、さらなる調査を進めながら、藻場の再生に取り組んでいくそうです。



防水カメラによる観察



計量魚探のトランスデューサー



計量魚探を舷側に設置

【11月5日】小坪：ワカメ他、テレビ放映

11月5日、小坪漁協所属のまさかり丸(井上さん)の漁獲物を調理提供する飲食店「漁師の店まさかり丸」がテレビ神奈川「猫のひたいほどワイド」で紹介されました。番組では、まさかり丸が採取した天然ワカメを用いた「めかぶラーメン」及び刺網で漁獲された多種の地魚を用いた「漁師の漬け丼」とともに、刺網の陸上での手入れ作業が紹介されました。

番組ページ <https://www.tvk-yokohama.com/nekohita/archive/2024/11/24115-1.php>

お知らせ

【2月22日】漁師.jp：「漁業就業支援フェア2025冬」

2月22日(土)に「漁業就業支援フェア2025冬」を、漁師.jp(全国漁業就業者確保育成センター)が大田区産業プラザpioで開催します。就業者を募集されている方は是非ご参加下さい。

漁師.jp フェア情報 <https://ryoushi.jp/fair/>